

学友会

題字: 書道部 遠藤 俊太郎
(平成23年度卒)

P.1	P.2 七大戦特集	P.3	P.4
●山内団長に聞く応援団の魅力!	体育部 ●七大戦とは? ●相撲部 ●フェンシング部 ●七大戦スケジュール	文化部 ●アマチュア無線部 ●化学部 ●文化部各部のイベント予定	●報道部って何? ●発見! おもしろ準加盟団体

山内団長に聞く応援団の魅力!



絆を大事に奮闘中

学友会応援団団長の山内義基です。4年前、先輩の背中にあこがれて応援団に入部しました。今では総勢58人の部員をまとめながら、応援団の先頭に立って声を張り上げています。

私たちはアメフト部、ラクロス部など20の部活の大会での応援が主な活動。また、入学式やホームカミングデーなどの大学行事、アーケードやショッピングモールなどの街のイベントで演舞を披露しています。団員はみんな仲良く、プライベートでも卒業後でも付き合いがあるほど絆は固いです。

私は応援団でいろいろな経験をし、人と人との輪を広げることもできました。大変なことも楽しいことも含めて企画や組織の運営を学べたり、応援を通じてほかの部活の方々とも交流ができたし……。応援のパフォーマンスで達成感を得るだけでなく、こうした多様な経験をしながら人間関係を築くことも部活に入る目的だと思います。

私は応援団でいろいろな経験をし、人と人との輪を広げることもできました。大変なことも楽しいことも含めて企画や組織の運営を学べたり、応援を通じてほかの部活の方々とも交流ができたし……。応援のパフォーマンスで達成感を得るだけでなく、こうした多様な経験をしながら人間関係を築くことも部活に入る目的だと思います。

大学生はいろいろな選択肢があります。本当に充実した大学生活を送ってほしいですね。

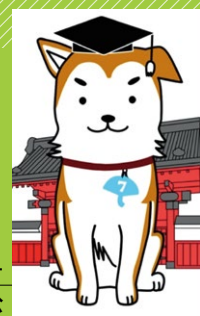


今回から、報道部が全ページを編集しています!

学友会

本学全ての学生・教職員が会員となり、サークル活動、大学祭、新入生歓迎行事、教職員スポーツ大会などに対する支援を行っています。

七 大 戦 特 集



第55回七大戦マスコットキャラクター
イチ公

七大戦とは？

全国七大学総合体育大会(七大戦)とは旧七帝大が参加する体育大会のこと。今回で55回を数える歴史ある大会だ。七大戦において本学は現在3連覇中である。今年度も総合優勝を果たせば七大戦史上初の4連覇となり、期待がかかっている。

相撲部

学友会相撲部は七大戦に向けて必死に練習に打ち込んでいます。七大戦では4連覇という成績を誇り、今年も七大戦5連覇を狙っている優勝候補です。

相撲部は基礎基本を徹底した練習を行っています。活動は2時間ほどの練習を、週3回です。前半は準備体操や股わり、下半身を鍛えるための四股、すり足という相撲の基礎となるトレーニングを、後半は試合形式の練習をします。相撲部は現在15人ほどで、そのほとんどは大学から相撲をはじめています。学年や体格に関係なく相撲を楽しんでいます。



七大戦スケジュール

バドミントン(男女)	8/9~14
準硬式野球	8/10~12
硬式野球	8/11~13
バレーボール(男女)	8/15~19
ハンドボール	8/17~23
フェンシング	8/19~20
水球	8/20~21
馬術	8/20~21
ゴルフ	8/24~25
弓道(男女)	8/26~31
相撲	8/28
ソフトテニス(男女)	9/1~5
アーチェリー	9/2~6
卓球(男女)	9/3~7
ソフトボール	9/6~7
自動車	9/12、14
体操	9/16~18

フェンシング部

学友会フェンシング部の部員は現在33人です。七大戦、国公立戦などの試合に向けて週4回練習しています。みんな仲が良く、一人一人が楽しんで活動しています。先輩、後輩問わず、オープンな雰囲気互いの意見を言い合っています。

8月の七大戦、国公立戦が年間を通して一番大きな試合になります。優勝を目指して日々練習に励んでいます。悔いが残らないよう精いっぱい試合していきたいです。

新入部員やマネージャーも随時募集しています。興味がありましたらぜひ。





部活紹介

アマチュア無線部

現在、学友会アマチュア無線部の部員は9人です。日頃は無線機を用いて遠くの局と交信をしています。大会にも出場していて、制限時間の中でどれだけ多くの局と交信できるかを競っています。東北を中心として関東あたりまで交信することが出来ますが、世界大会ではアルゼンチンまで電波を届けたこともありました。

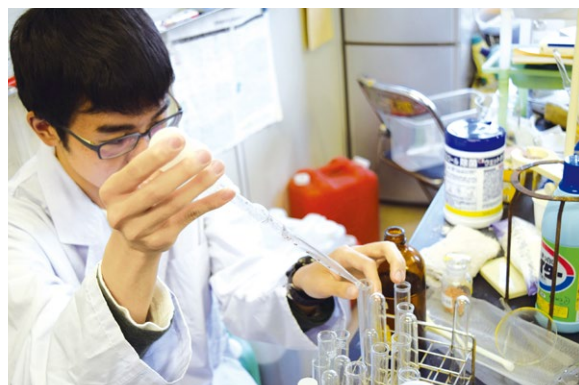
大会は野外で行うことが多いので、アンテナを立てたり事前の準備をしたりするのもアマチュア無線の楽しいところですね。



化学部

学友会化学部は約50人で毎週金曜日に活動しています。器具のそろった部室で、カテキン抽出やBZ反応などそれぞれの実験を行っています。秋の大学祭を最大の目標とし、その成果の展示と来場者向けの実験の体験を催すため、その準備も欠かせません。

部長の鈴木陸人さんは「高校の授業とは違い、実験内容を自分で決めて試行錯誤するのが魅力」と活動の醍醐味を話します。テーマを自由に設定し実験する、そんな化学の楽しさを多くの人に知ってほしいとの思いで日々の実験に励んでいます。



文化部各部のイベント予定

自主制作 映画上映会	8/13	映画部
2016年度新人公演 「ブラックコメディ」	8/16~21	演劇部
鳴展	9/9~14	美術部
OB落語発表会	9/24	落語研究会
学祭写真展	10/28~30	写真部
学祭書道部展	10/28~30	書道部

第61回定期演奏会	11/5	邦楽部
古典落語発表会	11/9	落語研究会
第167回定期演奏会	12/3	交響楽部
第38回定期演奏会	12/11	吹奏楽部
十二月展	12/13~18	写真部
後期展	12/22~30	美術部
在仙展	3/1~5	美術部

報道部って何?

報道部では、年に11回「東北大学新聞」を作成しています。今年で50周年を迎えます。紙面の内容は、本学の先端的な研究やサークル活動の紹介などさまざまです。それらの中でも「ネタ記事」と呼ばれる記者体当たり企画は大好評です。これまでに「24時間人生ゲーム」や「深夜にドロケイやってみた」などバカバカしいことに全力で挑戦しました。

新聞は各キャンパスのほか、飲食店や公共施設にも置いていますので、ぜひ手に取ってみてください。

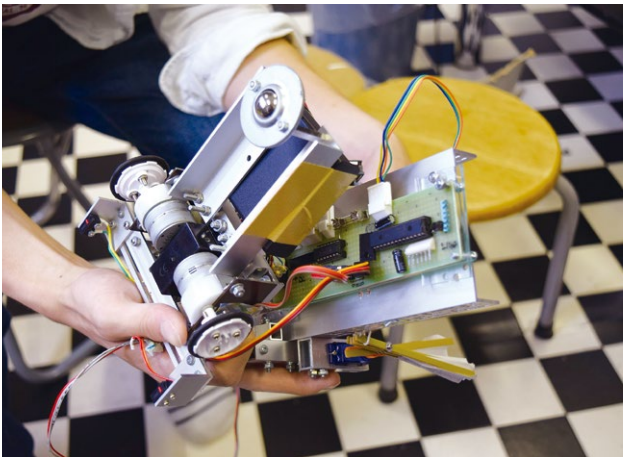


発見!おもしろ準加盟団体

工学部自主ゼミナール協議会 (T-semi)

工学部自主ゼミナール協議会の部員は現在30人弱です。主な活動はロボットの製作です。仙台で行われる知能ロボットコンテスト、NHK学生ロボコンに向けて、材料システムゼミナール、自動制御ゼミナールと協力してロボットを作っています。私たちはロボットのプログラムをしており、材料システムゼミナールは本体作成、自動制御ゼミナールは電子回路の作成を担当しています。

物作りが好きな人たちが集まり、和気藹々とした雰囲気の中、さまざまなものを作っています。



都市まちづくり研究会

都市まちづくり研究会(通称“としけん”)では、「都市」や「まちづくり」に関する活動を行っています。たとえば、色々な都市に実際に訪れたり勉強会を開いたりすること。また、地域のまちづくり活動に参加して、まちづくりの面白さを学び、人とのつながりを形成していく活動を行っています。昨年は仙台市地下鉄東西線の開通に関連して、街歩きマップの作成に携わったり、テレビの取材を受けたりしました。少々マニアックな会話が飛び交うこともありますが、その中には新たな発見が沢山あり、楽しく活動しております。



！学友会費納入のお願い 学友会は皆さんの会費で支えられていますので、学友会費の納入にご協力をお願いします。

問い合わせ先

022-795-3983 (活動支援係:教育・学生総合支援センター1階2番窓口)